

# QYT

Q-Yacht Times

November 2021

## 11月号のラインナップ

- ・九州インカレ団体戦報告
  - ・九州470報告
  - ・全日本インカレに向けて
  - ・今後の予定
  - ・モチベーションアップ
- PV2021公開お知らせ

## 九州インカレ団体戦報告

2021年10月9日、10日@福岡市ヨットハーバー

完全優勝をかけた九イン団体戦。自分たちなりに試行錯誤を重

ねた夏練習の成果を見せる舞台上で綿密な準備を重ねて挑みました。1日目は、5~10ktの風

の中で合計3レースを消化しました。国際470級では、どの艇も上位を走り続け初日から団体成績1位と順調な走り出しを見せました。国際スナイプ級では、他大との争いに苦戦しながらも3レース目で1位と1点差にまで追い上げることができました。2日目は国際470級の勢いは続き、3艇とも安定した順位をとり続け、団体では見事1位を獲得することができました。国際スナイプ級では、第4レースでは逆転を見せるものの惜しくも最終レースで福岡大学に敗れてしまいました。総合成績では1位という結果で、完全優勝とはなりません。うれしい場面も悔しい場面もありましたが、全日本インカレまでの残り



の期間で成長できるように各自が課題を見つけ出す絶好の機会となりました。(川端)

## 九州470報告

2021年10月23日、24日@福岡市ヨットハーバー

10月23日、24日に小戸ヨットハーバーにて九州470級ヨット選手権大会が行われました。今大会では、上位8位までのペアが全日本470級ヨット選手権大会への出場権を得られ、九州大学ヨット部からは2艇が出場権を獲得しました。今大会では10knot前後の安定した風の中計6レースが行われました。結果は以下の通りです。

山下龍司(3年)/矢吹創(4年)1位

野妻快成(4年)/佐藤拓海(4年)10位

森ゆり奈(4年)/上野大一(3年)・王芸衡(2年)8位

久保春喜(2年)/大西健新(2年)13位



山下龍司(3年)/矢吹創(4年)ペアは2位と7点もの差をつけ、見事大会を制しました。サポート面も反省点が減ってきて、この数ヶ月の間にレベルアップしてきていると感じています。集大成となる全日本インカレではミスなく最高のサポートができるよう励んでまいります。

## 今後の予定

○11月4日(木)~7日(日)第86回全日本学生ヨット選手権大会(団体戦)

場所:豊田自動織機海陽ヨットハーバー

○11月18日(木)~23日(火)全日本470級ヨット選手権大会

場所:江の島ヨットハーバー



# 全日本インカレに向けて

主将

佐藤拓海



ついに1年間目標としていたインカレが差し迫ってきました。

本年度も昨年と同様、コロナの影響でほとんどの大会がキャンセルされたり、練習時間が少なくなるなど活動が制限された一年でした。

ただその中で個人個人がチームのためにできることはないかと考え続け、たくさんの方の失敗の中からたくさんの方のイノベーションが生まれました。今、一年を振り返ると今年のスローガンである「夢中」を体現できていたと感じています。

全員が総合優勝という大きな目標を夢中で追いかけていました。

今年の部員は63人です。レギュラーメンバーは彼らの気持ちを胸に最後の瞬間まで1点を追い続けます。サポートメンバーは一つのミスもなくレギュラーが最大限の実力を出せるよう最大の準備をします。

この一年のすべてを蒲郡の地でぶつけます。優勝します。

どうぞご声援のほどよろしくお願いいたします。

スナイプリーダー

足立拓馬



今年もいよいよ全日本インカレの時期がやってきました。コロナで交代後思い描いていたことの全てをできたわけではありませんでしたが、そのような状況の中でも工夫しながらやれることをやれたと思っています。ここまで活動できたのはOB・OGの先輩方や大学関係者の方、家族など様々な方のご支援によるものだと思います。本当にありがとうございました。

今年のスナイプチームは4艇で実力が拮抗しており、今までライバルとしてのぎを削っていた分とても頼もしいと感じております。蒲郡インカレということでハードなコンディションが予想されますが、チームで助け合いながら一丸となって戦っていく所存です。目標である総合優勝に向けて最後の最後まで全力で挑みますのでご声援のほどよろしくお願いいたします。

## モチベーションアップPV

### 公開お知らせ

今年もモチベーションアップPVが完成しました！

久保を中心とした2年生5人によって、忙しい夏練習の合間を縫ってかっこいいPVが作成されました。

470リーダー

野妻快成



まずはインカレが開催され、さらに開催

地蒲郡に部員全員で乗り込むことが出来ることを大変喜ばしく思います。

今年度はコロナ禍の影響で遠征が中止になり、小戸でひたすら技術の向上に努めました。必要な情報を集めて練習し、自分たちの技術に落とし込むことに集中できたことは、私たちの大きな強みになりました。

蒲郡に入ってから全日本個人戦にも参加します。私たちの成長は、インカレ最終レースまで終わりません。最後の最後まで、チームとして、選手として成長し、各クラスのメダルと総合優勝を勝ち獲ります。

応援よろしくお願いいたします。

マネージャーリーダー

井手沙緒里



いよいよこの代最後の戦いが始まろうとしています。

九大のサポートは全国どこを見ても絶対に引けを取らない自負があります。

50人近い圧倒的な人数と、これまで先輩方が築き上げて下さり、さらに今年もパワーアップさせた万全のサポート体制。それに、九大のサポートは私たち現役だけではなくありません。直接ご指導・ご支援して下さいたり、遠方から応援のメッセージを下される先輩方、保護者の方々、日頃からお世話になったり何かのご縁でブログを読んで下さっている方々、全ての方々の支えで今の94代はここまでやってくることが出来ました。そして何より、この大会の切符を自らの手で勝ち取ったレギュラーの皆には、ただひたすらにこの最高の舞台を楽しんでほしいと強く思います。そのために、私たちが現地のサポートとしてやるべきことはもう決まっています。これ以上怖いものなど何ともありません。凄くワクワクしています。今まで九大ヨット部を支えてくれたすべての方々に恩返しができるよう、最終レースまで圧倒的なサポート体制で戦って参ります。どうぞ最後まで暖かいご声援をよろしくお願いいたします。

Youtubeにて公開しておりますのでぜひご覧

ください！

リンクはこちら↓

[https://youtu.be/fiZ\\_Cu\\_OC1w](https://youtu.be/fiZ_Cu_OC1w)



九州大学ヨット部モチベーションアップ動画

2021

46 閲覧数 3 視聴回

11 0 共有 作成 オフライン

九州大学ヨット部

チャンネル登録者数 55人

登録済み